

平成23～26年度  
東日本大震災被災地への家庭教育支援事業  
【報 告 書】



絆



長崎県福祉保健部こども政策局こども未来課

## 1【「子育てサロン」における子育て支援の協力】

### 石巻市仮設開成集会所での子育てサロン



親子遊びの中に入る長崎県のチーム員



来所した母親と話す長崎県のチーム員

#### 【子育てサロンの内容】

- ・場所 仮設住宅団地の集会所
- ・回数 月1回から2回
- ・支援者 石巻市家庭教育支援チーム  
保育士、看護師、助産師、など
- ・来所者 仮設住宅団地内で、在宅子育てをしている親子10組程度
- ・内容 親子遊び、リズム体操、ベビーマッサージ、読み聞かせ、ペープサート、歌  
ティータイム、子どもたちへプレゼント  
子育て相談、育児相談

・長崎県からの家庭教育支援チームは、石巻市の家庭教育支援チームと合同で、親子遊びやベビーマッサージ、歌などを行った。

長崎市の母子からのメッセージや手作りのお手玉をプレゼントした。

・月1回程度の開催を心待ちにしている母親と子どもたち。思い切り遊んで、ふれあって、ちょっとリフレッシュして、被災したことを一時でも忘れてほしい時間になれば・・・。



ベビーマッサージ  
「ぞうきんのうた」



大きな絵本の読み語り



参加した母親に、ハンド  
マッサージ

【長崎県の家庭教育支援チーム員の感想】石巻市の家庭教育支援チームが、それぞれの役割を持ちながら、エネルギーで、きめ細やかな活動を展開する姿には、頭が下がりました。母も子どもも予想していた以上に、明るい表情で、安心しました。このような場所にこそ、もっと多くの親子が自由に来所できる地域子育て支援拠点などが必要に思えました。そして、少しでも親子がリフレッシュできることを願うばかりです。

名取市イオンモール内「ぼっぼはうす」子育てサロン 毎週水曜日開催



ハイ! みなさん・・・



昔、むかし・・・・・・・・



お手玉でのおあそび



手遊び、ハンカチでのいないいないばあ

**感想** 参加している親子がたくさんで、びっくりしました。ショッピングモールの中で、親子が車で、気軽に来所できるこのようなサロンがあるのは、素晴らしいと思いました。参加した母親と子育ての話がいろいろできて、そして、喜んでもらってこちらもうれしかった。

・長崎から来たことを話すと「ありがとうございます」とお礼を言われ、恐縮した。このサロンは、気軽に利用しやすく、他の親子との交流ができる場所で、長崎などにもあればいいなあと感じた。  
・お手玉遊びなど、みんなで取り組んだ出し物が盛り上がってよかった。

**感想** 赤ちゃんを抱っこしながら、お母さんとお話しました。お母さん方の育児ストレスや震災後の悩みなどを聞きながら、共感することが多かった。お母さんたちの子育てにエールを送りたい。

・来所している親子が福島原発から 30 キロ圏内に在住したため、疎開をしていた。名取市に最近引っ越してきて、明日、子どもの甲状腺検査をするとの事。被災をされ、家を追われ、子どもの健康被害の心配をしながら、子育てを懸命にがんばっている話を聞いて、自分たちにできることはなんだろうかと考え、涙が出てきた。この親子が、今後、しあわせに暮らして欲しいと願うばかりです。

**所感**：「家に子供とだけいると怒ってばかりで、いやになってしまう、気分を換えるために楽しみにしている。」という方もいらっしゃった。他のお子さんを見て、自分の子の成長の展望が持てる、いろいろなおもちゃがある、下の子を抱っこしてもらえると、上の子と遊べる等、子育て支援施設には、母親の負担を軽減できる魅力がたくさんあると感じた。

## 2 【母親を対象としたNP体験版の実施】

### 石巻市公民館での体験版NPの実施

NP体験版の内容（前半：40分）

ファシリテーターの自己紹介

名札作り

- ・ 吊り下げ名札・三角名札

（記入するのは、ニックネームと本名）

名札を見せながらグループ内で

自己紹介（ニックネームの由来）

誕生日チェーン

- ・ 言葉を発せず、指のサインだけで誕生日順に並ぶ。

アクティビティドーナツ

グループ別に発表する。

ここまでの感想を述べる。（数人）

（後半：30分）

グループごとのワークショップ

模造紙1/2大を3等分し、一番左の欄に子どもの長所を出し合いながら、記録者が箇条書きで書き留める。

・次に真ん中の欄に子どもの短所を同様に書き留める。

・一番右の欄には、短所の言い方を変えるとどう表現できるかということ話し合いながらまとめていく。

お互いがまとめたことを発表する

感想を数人に述べてもらう。



#### アクティビティドーナツ

参加者（母親）が自分たちグループの中で、共通点や違う点などを話し合うことで、お互いを知り、仲良くなる。

そして、全体の前で、グループの人を「他己紹介」する。聞いている他の参加者も、「あっ！そういうこともあるの」など、楽しい雰囲気になる。



安心して話し合える場にするための  
のルールの確認

- ・ この場だけの話にする
- ・ パスあり
- ・ 人の話は、否定しない
- ・ 携帯電話はマナーモード・・・等



グループワークによる話し合いの様子

## 【長崎県チームの感想から】

今回、お母さん方11名を対象としたNP講座のファシリテーターを務めさせていただき、私自身大変勉強になりました。1回きりの体験版ということで、いろいろと悩んだ挙句、お母さんたちが、楽しく、話しやすい雰囲気を十分味わうことができるような、やさしいテーマですすめていくこととし、次に、自分のお子さんへの思いが、やさしい思いとなるように、「子どもへありがとう」で、結ぶこととしました。参加した親の表情が、時間が経つにつれてほぐれていき、笑顔で楽しく会話する姿が印象に残りました。被災されたお母さん方が「子どもへありがとう」をみんなの前で発表する姿を見て、同じ日本人として、また母親として、大切な子どもへの未来を築いていかなければならないと強く、強く思いました。

石巻市の沿岸部の被災地現場を見たとき、海風が瓦礫の上を吹き渡り、自分の肌に厳しい寒さを感じたとき、本当に身の引き締まる思いがしました。自分にできることを見つけ、がんばってみたいと思います。石巻の皆さんがんばってください。

## 石巻市公民館での体験版NPの実施

### ファシリテーターの感想で締めくくる



笑顔だけで声を発せず自己紹介をしている様子

### 【NP体験版に参加した親の感想から】

子どもの事などみんなで話し合えてよかったです。ゲームや歌、おしゃべりで、日々の生活していることを少し忘れて、みんなで楽しく出来てよかったです。

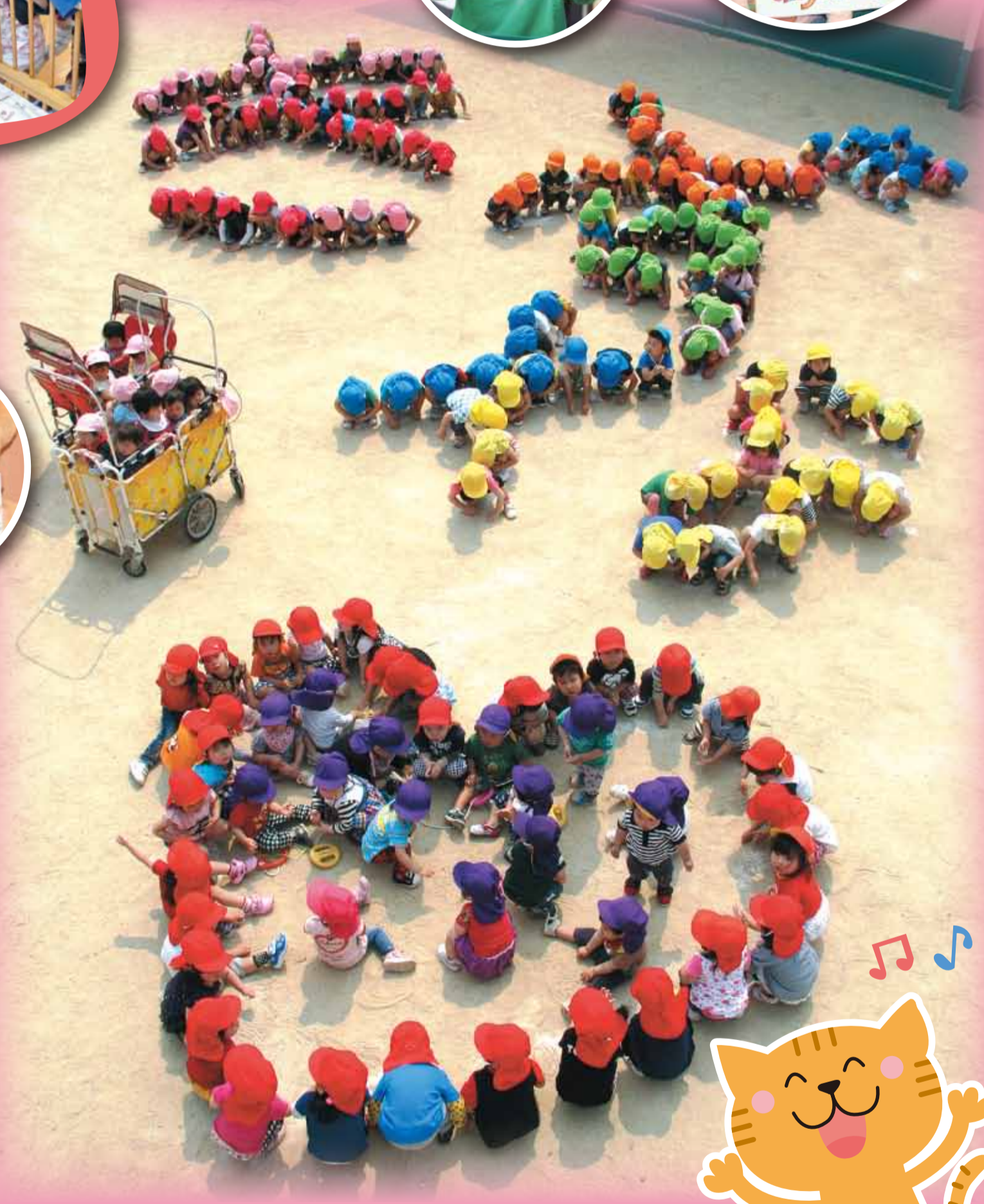
普段、家にいて子どもたちを怒ってばかりでしたが、この学習会に参加して、気が楽になりました。

とても良かったです。雪の中、栗原から出てきてよかった。ファシリテーターの細かい気配り、そして何よりも安心できる声かけ、笑顔。すばらしかったです。



【ワークショップ「もういや。いろいろ思うこと」「だって、・・・何だもん。」





いづ はら みなみ ほ いく えん  
**巖原南保育園**



巖原南保育園のブログQRコードです♪  
 園児の日常の笑顔いっぱいの様子を、  
 紹介しています♪対馬から、ずっと、  
 皆さんを応援しています♪

